

総務例会委員会

①【厳正かつ厳粛な総会の企画・実施】

(現状と課題)

■総会では、一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、JCI飯塚)の重要な活動案をメンバー全員で決議いたします。重要な活動案を決議するので、不公平な決議や資料の不備、出席者数の確認ミスなどは許されません。そのため、公平かつ誤りを許さない総会運営を行う必要があります。

■今までの総会では紙ベースの運用が行われてきました。近年では電子媒体がより普及してきたことで、ペーパーレスが推進されるようになってきました。しかし、JCもSDGs推進団体にもかかわらず、紙ベースに頼っていることが多く、今よりさらにペーパーレスを推し進める必要があります。

(目的)

対内:

■厳正かつ厳粛な総会運営を目的とします。

■電子ベースのシステム運用を推進することで、効率的な総会運営とSDGsの観点からペーパーレス化に取り組むことを目的とします。

(事業内容)

■厳正かつ厳粛な総会の企画・実施

(事業)

1) 1月、11月に通常総会を開催いたします。また、必要があれば適宜、臨時総会を開催いたします。

2) 可能な限り電子媒体を取り入れた総会運営を行います。

3) 事前にリハーサルを行うことで、司会の読み間違いや配布資料の不足など運営上の誤りを防ぎます。

4) 配布書類を委員会メンバーと何度も確認することで誤字、脱字などの誤りを防ぎます。

5) KPI 正会員の総会出席率70%、総会運営側紙ベース資料100%減、紙ベース資料80%減

6) パートナー なし

②【例会の厳粛なる式典の企画・実施】

(現状と課題)

■毎月開催される例会の式典の部において、理事長がJCI飯塚の方向性について講話されます。メンバーはそれを拝聴することで「感恩報謝」の想いを共有する必要があります。

■各委員会がアワーを担当するという新たな取り組みによって今までに無い問題が起こりうる可能性があります。

(目的)

対内:

■いかなる開催場所であっても厳粛なる式典にすることで、理事長の掲げる方向性を最大限発信し共有することを目的とします。

(事業内容)

■例会の厳粛なる式典の企画・実施

(事業)

1) 1月～11月の例会の式典の部を開催いたします。

2) 毎月アワー担当委員会との合同委員会を開催し、機材チェックなど事前に綿密な打ち合わせを行うことでミスのない式典の企画・実施に努めます。

3) アワー開催場所を下見して、可能ならば現地でリハーサルを行うなど事前準備を行います。

4) KPI 1月～11月の合同委員会開催率100%(2月、8月例会は除く)

5) パートナー 準会員、特別会員

③【2月合同例会の企画・実施】

(現状と課題)

■1月から福岡ブロック協議会が新組織で活動を始め、一年間、良い活動を行うためには各エリアの協力が必要です。そのためにはJCI日本並びに福岡ブロック協議会の方針を各エリアに説明し、理解してもらうことで各LOMからの協力を仰ぐ場が必要です。

そこで、第2エリア担当副会長が主導の元、「2023年度(公社)日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会会長公式訪問第2エリア2月合同例会」を開催し、福岡ブロック協議会役員と第2エリアが連携を強化する必要があります。

また、この合同例会は第2エリアが一堂に会する絶好の場であるため、各LOMのメンバー同士が交流を深めることができる機会を作る必要があります。

(目的)

- 対内：
■JCI日本並びに福岡ブロック協議会役員と第2エリアの連携を強化することを目的とします。
■各LOMメンバーたちが交流を深め、今後のJC運動に活かすきっかけとなる機会を作ることを目的にします。

(事業内容)

- 2月合同例会の企画・実施 (事業)
- 1) 他LOMの委員長同士で下見やリハーサル、合同委員会などの打ち合わせを重ねることでミスのない式典運営に努めます。
 - 2) 福岡ブロック協議会の方々と打ち合わせを行うことでスムーズなアワー運営に努めます。
 - 3) 第2エリアメンバー同士が、より多くの方と交流を深めることができる懇親の部を設けます。
 - 4) KPI JCI飯塚メンバーの出席率80%
 - 5) パートナー JCI宗像、JCI田川、JCI直方、福岡ブロック協議会役員

④【8月例会アワーの企画・実施】

(現状と課題)

■我々JCI飯塚のメンバーが積極的にJC活動ができるのは、支えてくれている家族や事業所のスタッフの方々のおかげだと考えます。しかし、支えてくれているの方々へ感謝の気持ちを伝える機会は少ないのではないのでしょうか。その方々に日頃の活動内容を知っていただき、感謝の気持ちをお伝えすれば、これからも支援していただけたらと思います。
そこで8月例会アワーではメンバーを支えてくれている方々に我々が行ってきたJC活動を理解していただき、アワーを通して感謝の意をお伝えする必要があります。

(目的)

対内：
■メンバーが、日々支えてくれている方々とアワーを楽しんでいただくことと共に、感謝の意を伝えることを目的とします。

対外：
■メンバーを支えてくれている方々に、我々が行ってきたJC活動の内容を理解していただき、よりご支援いただくことを目的とします。

(事業内容)

- 8月例会アワーの企画・実施 (事業)
- 1) より多くの方に来ていただけるような親しみやすいアワーを企画・実施します。
 - 2) これまでのJC活動の取り組みや成果がわかりやすく伝わるアワーを企画・実施します。
 - 3) KPI JCI飯塚メンバーの出席率80%
 - 4) パートナー 準会員、特別会員、JCI飯塚メンバーを支えてくれている方々

※1) Verは修正したら更新する。

※2) 英数字は半角を使用する。

※3) MSゴシック11Pを使用する。

